

【著者紹介】

安世鴻 AHN Sehong

写真家

「表現の不自由展～消されたものたち～」(グループ展、ギャラリー古藤、2015.1)／「重重～消すことのできない痕跡 フォトギャラリー」(個展、ブシュケー名古屋、2014.11)／「重重：中国に残された朝鮮人日本軍「慰安婦」の物語」(出版、大月書店、2013.6)

高榮蘭 KŌ Young-ran

日本大学文理学部

日本近現代文学

『「戦後」というイデオロギー—歴史／記憶／文化』藤原書店、2010年／『検閲の帝国 文化の統制と再生産』(編著)新曜社、2014年／『岩波講座 日本の思想3 内と外』(共著)岩波書店、2014年

ロバート・ティアニー Robert TIERNEY

イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校

リベラルアーツ・サイエンス学部東アジア文化言語学科

日本文学

Monster of the Twentieth Century: Kōtoku Shūsui and Japan's First Anti-Imperialist Movement, (forthcoming University of California Press)／“*Othello in Tokyo: Performing Race and Empire in Early Twentieth Century Japan*,” *Shakespeare Quarterly* 62(4), December 2011／*Tropics of Savagery: the Culture of Japanese Empire in Comparative Frame* (University of California Press, 2010).

大崎晴美 OSAKI Harumi

マギル大学大学院東アジア研究科

哲学・思想

“Pure Experience in Question: William James in the Philosophies of Kitarō Nishida and Alfred North Whitehead,” *Philosophy East and West*, Vol. 65, No. 4, University of Hawaii Press, forthcoming in October 2015／“Killing Oneself, Killing the Father: On Deleuze’s Suicide in Comparison with Blanchot’s Notion of Death,” *Literature and Theology*, Vol. 21, No. 1, Oxford University Press, 2008／(翻訳)トーマス・ラマール『アニメ・マシーン - グローバル・メディアとしての日本アニメーション』藤木秀朗監訳、名古屋大学出版会、2013年。

笹尾佳代 SASAO Kayo

徳島大学

日本近現代文学

『結ばれる一葉』双文社出版、2012年／『スポーツする文学』共著、青弓社、2009年／『論集樋口一葉IV』共著、おうふう、2006年

安田敏朗 YASUDA Toshiaki

一橋大学大学院言語社会研究科

近代日本語史

『帝国日本の言語編制』世織書房、1997年／『「多言語社会」という幻想—近代日本語史再考IV』三元社、2011年／『かれらの日本語—台湾「残留」日本語論』人文書院、2011年ほか

秦剛 GIN Gang

北京外国語大学 北京日本学研究中心

日本近代文学、中日比較文学

「芥川龍之介 大陸で磨かれた小説家のジャーナリズム その中国観察と日本への再認識」(『渡航する作家たち』翰林書房、2012年4月)／『「戯曲蟹工船」と中国東北部の「留用」日本人—中日戦後史を結ぶ「蟹工船」』(『多喜二の文学、世界へ 2012小樽小林多喜二国際シンポジウム報告集』、小樽商科大学出版社、2013年1月)／『戦前日本出版メディアの上海ルート—内山書店と改造社の海を越えたネットワーク』(『日本近代文学』第89集、2013年11月)

河西秀哉 KAWANISHI Hideya

神戸女学院大学文学部総合文化学科

日本近現代史

『「象徴天皇」の戦後史』講談社選書メチエ、2010年／『戦後史のなかの象徴天皇制』(編著)吉田書店、2013年／『日常を拓く知第2巻 恋する』(編著)世界思想社、2014年

上野晃平 UENO Kohei

名古屋大学大学院文学研究科 博士課程前期課程

日本思想史、日本文化史

『花と「感化」する身体—「修養」としてのいけ花』『いけ花文化研究』第2号、銀河書籍、2015

岡英里奈 OKA Erina

名古屋大学大学院文学研究科 博士課程後期課程

日本近代文学

『和歌が生む(葛藤)—島崎藤村「夜明け前」における国学と政治』、『国際文化研究紀要』第19号、横浜市立大学都市社会文化研究科、2013年

張ユリ JANG Youlee

名古屋大学大学院文学研究科 博士課程後期課程

日本近代文学

『堀辰雄文学の空間表象—初期作品から「軽井沢文学」への移行をめぐって—』、『日本文化論叢』第13輯、大韓日本文化学会、2013年2月／『1930年代後半における雑誌『モダン日本』の編集体制—前線と銃後、植民地朝鮮をめぐって—』、『名古屋大学国語国文学』第107号、名古屋大学国語国文学会、2014年11月／『雑誌『モダン日本』が構築した「モダン」—雑誌のブランド化と読者戦略—』、『文学・語学』第211号、全国大学国語国文学会、2015年1月

張 鈴 ZHANG Ling

上海電力学院
日本文学・思想

「orient、東洋と東方(ドンファン)—orientという語の訳語から日中両国の自己のあり方を探る—」、『漢字文化研究』、第3号、2013年3月／「豊島与志雄と中国—ある汎アジア主義的な心情を中心に—」、『名古屋大学国語国文学』、第106号、2013年11月

村上克尚 MURAKAMI Katsunao

津田塾大学、明治大学非常勤講師
日本近代文学

『動物とファシズム 大江健三郎「奇妙な仕事」論』、『日本近代文学』79号、2008年11月／「『自覚』の特権性を問う 武田泰淳「審判」における小説の可能性」、『日本近代文学』87号、2012年11月／「戦後家庭の失調 小島信夫「馬」の政治性について」、『國語と國文學』第91巻第6号、2014年6月

張政傑 CHANG Cheng-Chieh

名古屋大学大学院文学研究科 博士課程後期課程
日本近現代文学、60年代学生運動

陳 晨 CHEN Chen

名古屋大学大学院文学研究科 博士課程後期課程
日本学術振興会 特別研究員DC2
日本近代現代文学、日中比較文学、日中フェミニズム批評比較研究

「金原ひとみ『蛇にピアス』を読む—身体改造からみる「自我」への探求—」、『河南師範大学優秀卒業論文集』、2009年／「试析日本零年代女子风波：以媒体言说与文学作品为辅助线」、『文化の越境と他者の表象』、四川外国語大学出版社、2013年／「越境する『蛇にピアス』・ファルス不在の快楽—日中若手作家作品比較を通して—」、『名古屋大学国語国文学』107号、2014年

名取雅航 NATORI Masakazu

名古屋大学大学院文学研究科 博士課程後期課程
映画学

水野真理子 MIZUNO Mariko

富山大学 大学院医学薬学研究所 医療基礎(英語)准教授
アメリカ研究、日系アメリカ文学

共著マイグレーション研究会編『来日留学生の体験—北米・アジア出身者の1930年代』不二出版、2012年／単著『日系アメリカ人の文学活動の歴史の変遷—1880年代から1980年代にかけて』風間書房、2013年／「日系アメリカ人の文学活動におけるバイリンガリズム—強制収容と国家への忠誠・言語・アイデンティティ」、『立命館言語文化研究』26巻2号、2014年11月

小泉京美 KOIZUMI Kyomi

東洋大学非常勤講師
日本近代文学

『コレクション・都市モダニズム詩誌 1 短詩運動』ゆまに書房、2009年／『コレクション・モダン都市文化85 満洲のモダニズム』ゆまに書房、2013年／「アヴァンギャルドの地政学—日本の前衛詩運動と植民地空間」、『東洋通信』第51巻第4号、東洋大学通信教育部、2014年10月

馬然 MA Ran

名古屋大学大学院文学研究科 G30「アジアの中の日本文化」プログラム映画研究

“Chinese Film Festivals and Cultural Industries” (working title and co-authored with Cindy Wong), in *Handbook on Cultural Industries in China*, eds. Stephanie Hemelryk Donald and Qiu Zitong (Edward Elgar Publishing, forthcoming)／“A Genealogy of Film Festivals in the People’s Republic of China: Realigning Film Weeks during the ‘Seventeen Years’ (1949–1966),” *New Review of Film and Television Studies* (forthcoming)／“Regarding the Grassroots Chinese Independent Film Festivals: Modes of Multiplicity and Abnormal Film Networking,” *China’s IGeneration: Cinema and Moving Image Culture for the Twenty-first Century*, eds. Matthew D. Johnson, Yu Tianqi, Luke Vulpiani & Keith Wagner (Bloomsbury Academic, 2014)

尹芷汐 YIN Zhixi

名古屋大学大学院文学研究科 博士課程後期課程
日本の大衆文学、現代の日中間文化交流史

「松本清張と井上靖の『登山』表象：『遭難』と『水壁』におけるメディアへのまなざし」、『JunCture 超越的日本文化研究』第4期、2013年／「『週刊朝日』と清張ミステリー—小説『失踪』の語りから考える」、『日本近代文学』第88集、2013年5月／「『日本の黒い霧』の再評価—中国における翻訳を通して」、『松本清張研究』第15期、2014年3月

茂登山清文 MOTOYAMA Kiyofumi

名古屋大学大学院情報科学研究科、教養教育院共用施設(プロジェクトギャラリー「clas」)運営ワーキンググループ
視覚文化(ヴィジュアルリテラシー)、情報デザイン

『中川 運河 写真』(企画・編集)エイト、2012年／*Visual Experience: Architecture and Photography*, International Forum on Emerging Visuals, 2012年／『情報デザインベシクス』(共著)ユニテ、2007-2008年／『可視化の図学』(共著)マナハウス、2004-2006年